

教員養成における教育実践力育成プロジェクト

Integrated Research Projects for Developing Teacher's Practical Skills on the Current Educational Issues

教育学部：○藤本清二郎、川本治雄、江利川春雄、赤松純子、平澤啓、此松昌彦

S. FUJIMOTO, H. KAWAMOTO, H. ERIKAWA, J. AKAMATSU, A. HIRASAWA,
M. KONOMATU

○印研究代表者連絡先：fujisei@center.wakayama-u.ac.jp、電話073-457-7306

要約：本研究「教員養成における教育実践力育成プロジェクト」は、教育学部が現在取り組んでいるデマンドサイドの要請に応えうるための教員養成のあり方を具体的な課題に応じてより体系化させることによって、教育実践力を向上させるためのものである。本報告書は「小学校英語活動」「食農教育」「国語力向上」「防災教育」の4つの現代的課題へのそれぞれの活動について記録した報告書である。

はじめに

現在の社会において、教育問題は社会の変化に応じて複雑化し、課題解決においては多様な能力が求められている。なかでも、教員養成における期待は大きく、また、教員の資質の向上が、養成段階だけでなく採用後の研修段階でも大きな課題となってきた。

教員養成においては、質の高い教員養成のあり方について「理論と実践の結合」をいかに図るかが大きな課題となっている。現在、教育実習のカリキュラムをより体系化するための取組を進め、教員養成に関わるコア・カリキュラムの充実発展を図っているところである。

一方、学校教育現場においては、日常的におこる様々な課題や時代の要請に応える教育課題をとらえた新しい分野の教育や重点化・焦点化を図った分野の教育を学校カリキュラム上に位置づけ、効果的な教育実践を展開することが求められている。

本プロジェクト研究においては、学校現場における現代的課題の要請に応えうる教育活動の展開を図るため、学校における教育実践活動を視野に入れたプロジェクトとして、「小学校英語活動」「食農教育」「国語力向上」「防災教育」の4つの現代的課題に対応するスモールプロジェクトを立ち上げ取り組んだ。

小学校英語活動スモールプロジェクトにおいては、目標や活動についての基本的な課題を具体的な教材や授業の展開に関わって検討を進め、なかでも、「教

材の質」にこだわって、授業展開について子どもの発達と授業展開についての検討を試みた。

食農教育スモールプロジェクトにおいては、和歌山県の食農教育に関する聞き取り調査や観察等の実態把握のもとに進め、JAと共に15年間継続して取り組まれてきた小・中学校の先進的な事例を分析し、食農教育の共通的な達成目標と課題を整理し、これらを生かした指導内容や指導方法の素案を検討した。

国語力向上スモールプロジェクトにおいては、すべての教育活動の基礎となる学力として位置づけ、小学生の語彙力に着目し、実態調査に基づいて課題を分析し、授業を工夫することによって語彙力の向上を図り、その成果を検証しようと試みた。

防災教育スモールプロジェクトにおいては、「和歌山県の津波」の事例に関わる聞き取り調査等を通して「生きる力」を育み防災教育のあり方を検討するために「授業で利用できる教材開発」を手がけた。具体的には、「防災堤」等、今に残る地域の先人の構築物を素材にして、その意味を地元の人と共に掘りおこし、教材化した。

これら4つの活動領域は、それぞれ独立性の高いものである。個々でも完結するように、以下4部構成の報告書として編成した。（川本治雄）